

主直日誌

4月 15日(日) 天候 bc

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

- ・ 備讃瀬戸東・北航路実習、配管図

【感想(一日を振り返り、勉強になったことや感じたこと)】

今日で出港から3日が経ちました。瀬戸内海に入り、波も穏やかで船内生活にも少しずつ慣れてきました。朝は雨が降っていましたが、昼には雨も上がり、午後の課業ではボートデッキで漁具製作も行いました。午前中は航路実習の見学をしました。実際にブリッジで外を見ながら航路を通るのは初めてで船舶の多さに驚きました。普段ブリッジの状況や外の状況を見ることはあまり無いのでブリッジでの動きや作業、他の船舶の動きを見学することが出来、とても良い経験となりました。今後、当直に入るときにはブリッジの動きなども頭にいれ行動していきたいです。また下から見る瀬戸大橋は絶景でした。船でしか見る事が出来ない、世界最大級のつり橋の貴重な姿を見ることができ、感動しました。午後には配管図の勉強をしました。エンジニアの見習いとして配管図はとても大切なことなのです。空いた時間に何度も見直し当直などで機関室に入るときには実物と照らし合わせることで、出来る限り配管を覚えられるようにしたいです。まだそれについての図記号もあまり覚えられていないので、全てすぐ見てわかるように勉強しておきたいです。夕方には非常操舵訓練を行いました。舵機が効かなくなったときのデッキの動き方を知ることが出来たので、いざという時にはデッキの動きも頭に入れつつ行動できるようにしたいです。また機関部は舵機の修理が担当のため舵機の仕組みや構造を理解できるようしっかり勉強していきたいです。

昨今、良く聞かれるコンピューターの自動化は船の運航においてはまだまだ先なことであることを今日の実習を通して感じました。



本日は非常操舵実習です。二等航海士からの説明をしっかりと聞きました。

ブリッジの舵が

効かなくなったら・・・

ここでは電磁弁での操舵をします。



← 機関室では発電機並行運転を行いました。

毎日様々な実習に取り組んでいます。